

資金調達及び設備投資の見込について  
(令和7年4月1日から令和8年3月31日)

(1) 資金調達の見込みについて

下記の設備投資の対価の支払や、志願者数の推移その他予期していない支出などが生じた場合に運転資金の確保が難しくなるリスクがあります。そのため、必要に応じて期中の資金の手元流動性を確保する目的で、資金繰りの状況に応じて当座借越や短期借入又は長期借入等の手段も交え、資金調達をはかりたいと考えています。  
資金調達の総額は適切な手元流動性を確保する範囲内を上限とし、借入先や借入の諸条件については銀行と交渉して決定します。

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資の予定は下記の通りです。

事業番号	設備投資の内容	収入又は 支出の予定額	資金調達方法 又は取得資金の用途
公	能力判定事業に関する開発費等	1,257,000,000	運転資金及び外部借入等より